

会 議 録

1 会議名

令和6年度 第5回頸城区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 自主的な審議（公開）

○頸城区における「地域活性化の方向性」について

○地域独自の予算事業の意見交換会の振り返り

3 開催日時

令和6年9月18日（水）午後6時30分から午後8時05分まで

4 開催場所

頸城コミュニティプラザ 2階 203会議室

5 傍聴人の数

1名

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・委員：上村閨一（会長）新保哲男（副会長）、安樂大、小川泉、上村淳、滝本篤透、西巻肇、橋本春美、船木貴幸、望月博、吉越真紀、渡辺繁雄（委員14人中12人出席）
- ・事務局：頸城区総合事務所岡村所長、渡邊次長、井部市民生活・福祉グループ長、佐藤教育・文化グループ長、総務・地域振興グループ市川副主幹

8 発言の内容

【渡邊次長】

- ・会議の開催を宣言

【渡邊次長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・会議録の確認：橋本委員、望月委員に依頼

【上村会長】

- ・挨拶

次第3 自主的な審議「(1) 頸城区における「地域活性化の方向性」について」に入る。事務局説明願う。

【渡邊次長】

- ・事務局からの説明

【上村会長】

事務局から説明があったが、何か質問はないか。

【安樂委員】

資料No.1「これまでの頸城区地域協議会の取組」の2ページ目の中に、赤い円で記載されている商業施設、ここに関してはまだ着手されていないと思うが、どのような意見があって、どのような状況にまとまったかを知りたい。

【市川副主幹】

南川地区にある県営の南部産業団地内に、商業施設の立地を特定したエリアがある。その商業施設の誘致については、これまでも頸城区総合事務所は市の主管課及び県と共に誘致をしてきたところである。現在、その広いエリアの一部は新潟太陽誘電株式会社の駐車場として大部分が整備されたが、残った西側のエリアは商業施設を誘致することで決まっている。これまで長い間要望はしてきているが、まだ実現とはなっていない。

【安樂委員】

その商業施設とは、具体的にどのようなものなのか。

【岡村所長】

商業施設とは、スーパーマーケットなど買い物ができる施設で、地域の皆さんから要望されているものである。

【安樂委員】

私も介護の仕事をしていて、高齢者の方から買い物ができる場所がないとか、移動手段もないとの意見を聞いていたので、この商業施設が気になり確認した。

【上村会長】

他にないか。

無いようなので、自主的な審議「(1) 頸城区における「地域活性化の方向性」に

ついて」を終了とする。次に自主的な審議「(2) 地域独自の予算事業の意見交換会の振り返り」に入る。

7月23日に開催した地域独自の予算事業意見交換会での提案団体との意見交換を踏まえ事務局がまとめた資料が配布されていると思う。事務局、説明を願う。

【渡邊次長】

- ・事務局からの説明

【上村会長】

事務局から提案されたグループ分けと進行及び記録等の担当はこれでよいか。

- ・よいの声

それでは事務局、これで進めてほしい。

【渡邊次長】

それでは、2つのグループに分かれて意見交換をお願いします。

— 2つのグループに分かれて意見交換 —

- ・各グループでの意見交換の内容を発表

【渡辺委員】 グループ1

1つ目の課題は冬の魅力を活かす、2つ目が各団体との連携である。「冬の魅力を活かす」では、頸城区には冬に目玉となるようなイベントや事業等がないため、この冬をどう活かしていこうかという話である。外国人市民との関係では、冬に「さいの神」を南川地区の有志で行った時には、非常に盛況であったとのこと。「各団体との連携」では冬のレールパークでのコッペル号のライトアップに合わせて着物を着るなどの意見が上がった。

【吉越委員】 グループ2

最初に各団体との横のつながりを作っていけたらという話から始まり、現在私たちが実施している活動を、次の世代にどう渡していくか、どのようにこのまま続けていくかという課題について話し合った。

まず、頸城区地域協議会としてこの先どう役割を果たしていくのが1つの課題で、頸城区をマネジメントできる団体、かつ若い人たちがその後段階を経て、このような活動を育てていけるのか。

また、若い人達がこの活動をどのように思っているのか、若い人にもっと参加してもらいたいということ、そして、各団体の活動のイベント時には頸城区の住民が活動に参加してもらえるように、意見を聞いてもらえる環境を作っていきたいなどの話が出た。

今後の課題としては、こういった堅い場ではなく、若い人達と気軽な形で話ができるような場を設け、こちらから出向いて話が聞けるような活動ができたるとよいという意見が出た。また、この活動を次の世代につなげていきたいという話が出た。今、

実施していることを大切にしていくことと、頸城区の人達に頸城区のことを更に知ってもらうことが大事だという話になった。

【上村会長】

本件に関しては継続審議ということで、事務局とも相談しながら進めていきたい。7月23日に開催された各団体との意見交換を踏まえて、令和7年度の地域独自の予算事業について各団体が検討したため、いろいろな角度で意見が出たと思っている。少なくとも11月後半になれば、令和7年度にどのような団体が、どのような予算を要求したか事務局から示されるものと思われる。

その時点で各団体との意見交換という形をとりたいので、事務局とも相談しながら進めていきたいと思っている。それでは自主的な審議「(2) 地域独自の予算事業の意見交換会の振り返り」については終了とする。次に「4 その他」に移る。

【渡邊次長】

- ・視察研修について説明

【上村会長】

視察研修について、こういった内容の視察とするのがよいか、また実施するか否かも含み、意見がある場合は、次回の地域協議会までに事務局へ連絡するようにしてほしい。

次に、次回の地域協議会について、提案願う。

【渡邊次長】

- ・次回の地域協議会の開催日程について提案

令和6年10月17日（木） 18時30分より開催

9 問合せ先

頸城区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL：025-530-2311（内線212）

E-mail:kubiki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せて御覧ください。